

精神と行動の障害 WG 進捗状況

2013年3月9日

神庭重信（九州大学大学院医学研究院精神病態医学）

1. 改訂作業の参考とするため、メンタルヘルス従事者へアンケートを行う Global Clinical Practice Network(GCPN)がネット上に作られている。登録促進を日本精神神経学会が中心となり進めており、現時点で 400 以上の方が登録した。
2. ICD-11 の診断信頼性を確かめるフィールドトライアルが計画されている。これを行う、日本のセンターを 30 カ所（見込み）決定し、2013 年 3 月 17 日（日）に、第一回ネットワーク会議を行う。
3. この会には、WHO Senior Project Officer の Geoffrey M Reed 先生をお招きして、フィールドトライアルの計画について解説いただくよう御願いした。このための資料を学会 ICD-11 委員会で翻訳している。
4. 第 109 回総会（福岡）では、Geoffrey M Reed 先生を特別講演の演者としてお招きし、日本精神神経学会会員へ ICD-11 進捗状況をお話いただくとともに、GCPN の登録者をさらに増やすことを目的とした ICD-11 コーナーを設置する。
5. 近々、フィールドトライアルのための資料が逐次できあがってくるので、日本精神神経学会で翻訳を進める。現在その体制作りを進めている。また、DSM-5 が 2013 年 5 月に発表されるため、学会の用語検討連絡会（10 の関連学会との連絡会）で病名の翻訳ルールを検討している。DSM-5 と ICD-11 の病名翻訳との相田に祖語が生じないように、連絡会は併せて ICD-11 の病名翻訳を検討する。
6. その他、丸田敏雄、国際 WG 協力員より報告

精神と行動の障害のアドバイザー・グループ

第 14 回社会保障審議会統計分科会疾病、傷害及び死因分類専門委員会委員
国際 WG 協力員
丸田敏雅

第 13 回社会保障審議会統計分科会疾病、傷害及び死因分類専門委員会以降の活動状況は下記の 1～4 である。

1. 直近の精神部門の分野別専門委員会 (Topical Advisory Group: TAG) である、「ICD-10 精神および行動の障害のための国際アドバイザー・グループ (International Advisory Group for the Revision of ICD-10 Mental and Behavioral Disorders)」(以下 AG とする) は、平成 24 年 3 月 8 日～9 日に WHO 本部で開催された以降は開催されていない。
2. AG の配下に置かれており、今後のフィールド・トライアルを行う Formative Field Study Coordinating Group の第 3 回会議が平成 24 年 11 月 12 日～14 日に東京で開催され、今後のフィールドトライアルについてより具体的な方向性が話し合われた。
3. 実際にフィールド・トライアルを行うためのネットワークを構築するために、臨床実践グローバルネットワーク (Global Clinical Practice Network; 以下 GCPN) が web サイトで構築されつつある (GCPN の web サイトは英語、フランス語、スペイン語、アラビア語のほか日本語でも用意されており、日本精神神経学会の web サイトからアクセスできる)。
4. 今後行われるフィールドトライアルは
 1. GCPN に登録した協力者にアンケートを送付
 2. 模擬症例を用いてフィールド・トライアル(初期の診断基準を実際の患者に施行するには負担が重すぎるため。尚、試験-再試験信頼性検討か、評価者間信頼性検討かは未定)
 3. 診断基準を改定し、実際の患者を用いたフィールド・トライアルである。

以上